**2007年度　内科学総論　本試験　　　08年１月15日３限（9月の台風のため変更）**

１枚目（竹本）

発熱を伴う頭痛で鑑別しなければならない疾患に髄膜炎がある。髄膜炎の特徴といえば、項部硬直やKernig徴候である。項部硬直が見られたときに髄膜炎を疑い、腰椎穿刺を施行するが、なかには、項部硬直を伴わない髄膜炎も見られる。そこで、ある研究グループが、一秒間に2～3回いやいやをするように頭を振ると頭痛が強くなれば(Jolt Accentuation)、髄膜炎を強く疑えるのではないかと唱えた。以下に研究結果を示す。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 　　　髄膜炎あり68名 | 　　髄膜炎なし40名 |
| 項部硬直陽性 | 　　　　　10名 | 　　　　　 1名 |
| Jolt Accentuation陽性 | 　　　　　66名 | 　　　　　24名 |

但し、痛みは自覚症状であるので、意識障害の髄膜炎は除外してある。

1. 項部硬直陽性の感度、特異度、陽性尤度比、陰性尤度比を求めよ。
2. Jolt Accentuation陽性の感度、特異度、陽性尤度比、陰性尤度比を求めよ。
3. 髄膜炎における項部硬直の感度は一般的に50～70％と言われる。この研究によると、感度が低い。なぜ、このようなことがおこったのか。
4. 発熱を伴う頭痛を主訴としてみたときに、どのように診療を進めていくか。

感度、特異度は％で求め、整数で答えること。陽性尤度比は小数点以下第一位まで、陰性尤度比は小数点以下第二位まで求めること。

２枚目（飯塚）

1. 錐体路症候を４つ答えよ。
2. 左胸髄が切断されたとき、右下肢、左下肢の症候、症状をそれぞれ説明せよ。
3. 危険な頭痛の症候を４つあげよ。
4. 開眼はしているが、大脳皮質の広汎な機能障害によって不可逆的に大脳皮質機能が 失われた状態をなんというか。
5. トリプタン製剤が用いられる疾患、作用機序を述べよ。
6. 強直発作後の一過性麻痺をなんというか。
7. 起床すると痛み、臥床によって寛解する疾患をなんというか。
8. バリスムの責任病巣のひとつをあげよ。
9. てんかん重積発作の治療に用いるファーストチョイスの薬物はなにか。

10.　？

３枚目（黒川）

　動悸の鑑別疾患で、突然始まり、突然おさまる頻脈性の動悸が見られたときは、（　　1　　）（　　2　　）（　　3　　）を疑う。また、頻脈性の動悸でもいつ始まり、

いつ終了したかが不明瞭な場合は（　　4　　）のことが多い。息をこらえる、嘔気を催させる、嘔吐させる、などの（　　5　　）によって軽快するときは上室性頻拍と考えられる。動悸に続いて失神、めまいなどを感じるときは、（　　6　　）と考えられる。（　　7　　）の動悸は比較的乏しい他覚的所見に比べ、強い不安ないし恐怖を訴え、のどの中の塊、めまい、過換気症候群を伴うことが多い。動悸のほかに、発汗、眼球突出、手の振るえなどを認めるときは（　　8　　）を考慮する。冷汗、脱力感、空腹感を伴うときは、（　　9　　）を考慮する。頭痛、発汗、高血圧などを伴うときは（　10 　）を考える。

　聴診器には（　11　）と（　12　）がある。前者は（　13　）の音、後者は（　14　）の音の聴診に適している。大動脈弁領域は（　15　　）、僧帽弁領域は（　16　　）で聴診ができる。Ⅰ音は（　17　　）の閉鎖、Ⅱ音は（　18　　）の閉鎖時に聞こえる。生理的に、Ⅰ音とⅡ音の間に（　　19　）が聞かれたり、Ⅱ音、Ⅰ音の間に（　20　　）（　21　　）（　22　　）が聞こえることがある。Ⅰ音からⅡ音の間は（　23　）期、Ⅱ音からⅠ音の間は（　24　　）期を示す。（19）と(20)のときは心室容量が変わらず、その時期をそれぞれ、（　25　　）（　　26　）という。収縮期に雑音を示すのが、（　27　　）（　　28　）、拡張期に雑音を示すのが、（　29　　）（　30　　）、連続性雑音は（　31　　）（　　32　）のときにみられる。大動脈弁狭窄症は（　33　　）に、僧帽弁狭窄症は（　34　　）に聞きやすい。また、Austin-Flintの雑音が聞こえるとき、（　35　　）の（　36　　）がおこっている。またCarey-Coombsの雑音が聞こえるとき、（　37　　）の（　　38　）がおこっている。

失神とは心疾患が原因のときは一時的に心停止が起こることにより、一過性の脳虚血が

起こったためにおこり、特にこれを（　　39　　　）という。その原因として考えられる疾患として（　40　　　　）（　　41　　　）があげられる。

4枚目（鎌田）

全身性浮腫をきたす疾患を列挙せよ。

5枚目（渋谷）

腹水が生じる病態生理を図を書いて説明せよ。

6枚目（阿部チョク）

1. 平地でさえ、健康者並には歩けないが、自分のペースであれば1.6キロ以上歩ける　　人はHugh-Jonesの分類で言うと何度か。
2. 正しいものを二つ選べ。
3. 代謝性アルカローシスでは呼吸困難が起こる。
4. 呼吸困難がある場合は低酸素血症が存在する。
5. 肺の膨張障害によっても呼吸困難が起こる。
6. 呼吸困難とは主観的な症状である。
7. 呼吸困難は呼吸筋の筋力低下によっては生じない。